

俳句のアンソロジーを編む活動を通して想像を広げながらたくさんの俳句に親しむ。

第3学年1組 国語科学習指導案

指導者 川上 将伍

1. 単元名 めくってびっくり!?オリジナル俳句集『俳句に親しむ』
2. 学習材 「俳句に親しむ」(教育出版 ひろがる言葉 4年国語上)  
「きせつの言葉を集めよう」(教育出版 ひろがる言葉 4年国語上)  
『めくってびっくり俳句絵本』(岩崎書店発行 2009年初版)

3. 単元について

(1) 本単元でつきたい力

本単元では、主に、小学校学習指導要領・国語〔第3学年及び第4学年〕の「知識及び技能」・「B書くこと」・「C読むこと」における以下の能力を身に付けさせることをねらいとしている。

知識及び技能	
内容	(3) 我が国の言葉文化に関する事項 ア 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
B 書くこと	
内容	オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
C 読むこと	
内容	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
言語活動例	イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

本単元では、様々な俳句に触れて、アンソロジーを編み、最後にオリジナルの俳句集を創作する活動を通して、自分なりに思ったことや感じたことを絵や文で表現したり、自分の考えを広げたりすることをねらいとしている。

(2) 単元の目標

【知識・技能】

○俳句を音読したり、視写したりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。

(1 (1) ア)・・・㊦

【思考・判断・表現】

○いろいろな俳句に触れる活動を通して、自分の思ったことや考えをもつことができる。

(2 C (1) オ)・・・㊧

○友達と「オリジナル俳句集」を読み合い、作品に対する思いや考えを伝え合い、友達や自分の作品のよいところに気付くことができる。・・・(2 B (1) オ)・・・㊨

【主体的に学習に取り組む態度】

○自分のお気に入りの俳句を見つけるために、多くの俳句を読もうとしている。・・・㊩

### (3) 本単元で行う言語活動

本単元では、たくさんの俳句と出会い、その中から自分の気に入った俳句を集めて、最後にオリジナル俳句集というアンソロジーを編む言語活動を行う。これは、小学校学習指導要領「C読むこと」における言語活動例の「イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」を踏まえている。

第3学年の学習で、「かえるのぴよん」など同じリズムが繰り返される詩に触れる学習をしてきた。第1・2学年でも「がぎぐげこの うた」や「ちいさい おおきい」などの作品に触れている。子どもたちは今までにも、リズムをもった文章に触れる機会があったが、俳句に触れるのは第3学年で初めてである。そこで、たくさんの俳句を読ませ、五・七・五のリズムの良さやどのような情景を詠んだ句なのかや自分なりの俳句に対する考えを表現する面白さなどを味わわせたい。その際、館山市図書館から借りた俳句集などの作品を活用していくことで子どもたちの俳句に対する関心を高めていく。また、「ひみつの俳句ノート」に自分のお気に入りの俳句やその解説文を書き溜めていく。「ひみつの俳句ノート」では、B5の紙にノートを印刷したものを使用し、プラスチックファスナーを使いまとめる。お気に入りの俳句が溜まっていく喜びを感じさせ意欲を高めていく。その他に、アンソロジーを編む活動については、短い時間の中で、継続的に多くの作品に触れさせ、俳句に親しむことをねらいとする。

そして、自分で選んで集めたお気に入りの俳句の中からテーマを決め、テーマに応じたオリジナル俳句集を作っていく。その際、A4の紙を活用し、自分のテーマに合ったお気に入りの俳句、俳句作者、選んだ俳句の自分なりの解説文、その情景を描いた絵を載せていく。また、紙は白を使用し、そのまま書くものと、板目に油性ペンで罫線を引いたものを下敷きとして活用し書くものを用意し、子どもたちに書き方を選択させていく。その他に表紙には板目を活用し、自分の考えたテーマを書き、綴じ紐を使って選んだ作品をまとめ、オリジナル俳句集としていく。

たくさんの俳句を読むことで、子どもたちは、俳句の独特なリズムや表現方法に触れ、その表現の面白さやリズムの良さを感じることができるとはならないかと考える。

### (4) 学習材について

本学習材、「俳句に親しむ」では、小林一茶や与謝蕪村、山口誓子、松尾芭蕉、正岡子規、中村汀女、炭太祇、黛まどから江戸期・近現代の代表的な俳人の作品が、春・夏・秋・冬・新年の順に掲載され、小学生が制作した親しみやすいものから日本の伝統文化としてある俳句に触れるつくりとなっている。また、どのような場面を表しているか俳句の解説も掲載されており、子どもたちが情景を思い浮かべながら俳句に親しむことができる教材となっている。

「きせつの言葉を集めよう」では、俳句を詠むうえで重要な要素のきせつを表す言葉を学習する内容となっている。俳句については、例外もあるが、基本的に五・七・五の十七音、そして季語が入っていることが構成要素としてある。季語という言葉についても子どもたちは初めて触れる言葉であり、知識としてしっかりとおさえていきたいと考えている。様々な季節の言葉を教室に掲示することで季語に親しみ、俳句に対する関心を高めていきたい。

本単元で子どもがゴールモデルとする『めくってびっくり俳句絵本』では、スポーツの俳句・食べ物の俳句などテーマに応じて様々な俳句が掲載されている。そして、その情景を描いた絵と俳句の解説がセットになっている。絵については、思わず「わっすごい。」と感じるような、まさにめくってびっくりするものが描かれており、子どもたちが俳句に対して抵抗感なく読み進めることができ、俳句に親しみながら、オリジナル俳句集をつくる時に効果的な学習材である。また、館山図書館から俳句集を借り、

様々な俳句に触れることのできる環境も整える。このような環境を整えることで、「こんな俳句を見つけたよ。」「この人の俳句はどんな作品なんだろう。」と俳句に対して高い関心をもつことが期待できる。

#### (5) 子どもの実態 (男子11名 女子12名 計23名)

本学級の子どもは、朝のチャレンジタイムや図書委員会・教師による読み聞かせなど、様々な本に触れる活動を行ってきた。本校独自に行っている国語の意識調査においても「読み聞かせや読書が好き」の項目に関して肯定的な意見の回答が9割を超える数値となっている。読み聞かせや読書など本を読むことについては、好きな子どもが多いことがわかる。

第3学年の学習で、「かえるのぴょん」など同じリズムが繰り返される詩に触れる学習をしてきた。第1・2学年でも「がぎぐげごの うた」や「ちいさい おおきい」などの作品に触れている。その中で子どもたちは、リズムをもった文章に触れる機会があった。だからこそ、俳句独特の五・七・五音のリズムについても親しみやすくなるのではないかと考える。また、「うめぼしのはたらき」や「めだか」の学習では、どのような働きがあるかやめだかが敵から身を守る方法などを「うめぼしブック」、「めだかブック」として絵や図を交えながら表現してきた。そのほかにも、「クラスの『生き物ブック』を作ろう」の学習では、様々な生き物の特徴を比べながら、わかったことを一冊の生き物ブックとしてまとめている。

これまでの学習を通して子どもたちは、リズムのある文章に触れることや絵や文を用いて自分の考えを表現する言語活動を行ってきた。俳句については第3学年で初めて触れる学習となっている。そこで、今までの学習経験を生かしながら、様々な俳句に触れる活動を通して、俳句の独特のリズムに慣れ親しむことや自分が考えた俳句の解説文について、絵や文で表現し、それらを集約できるオリジナル俳句集にまとめていくことで俳句の面白さに気付かせたい。

#### (6) 指導観

〔見いだす〕

□本単元 (本時等) の目標 (めあて・ねらい) を児童に明示する。

①単元の目標を知り、学習の見通しをもつことで主体的に学習する態度を引き出す。

本単元の導入では、教師作成のオリジナル俳句集のモデル、書き溜めた「ひみつの俳句のノート」を提示する。オリジナル俳句集では、教師が選んだ俳句について、なぜその俳句を選んだのかその思いを語る。その際、俳句の解説文では、解説文の着目点 (俳句の情景をあらすじのように表したものと表現の仕方について表したものと、季語について表したものと) など明確にしておく。「ひみつの俳句ノート」では、教師が書き溜めた多くの俳句を見せることで、子どもたちが「私も溜めてみたい」など学習意欲の向上に繋げていく。また、子どもたちとつくった学習計画を掲示する。その他にも、廊下や教室に俳句を掲示することで、俳句に触れる機会を多く作る。色々な俳句に触れ、オリジナルの俳句集を創作するという単元の見通しを子どもたちがもつことで、主体的な学びにつなげていきたい。

〔自分で取り組む〕

□児童が自ら情報を収集し調べることができるように、環境等を用意しておく。

②お気に入りの俳句を視写する。

『めくってびっくり俳句絵本』や様々な俳句集を用意し、たくさんの俳句に触れる機会を設ける。国語の授業やチャレンジタイムを活用し、俳句を読んでいく。その中で、自分のお気に入りの作品を見つけさせる。教室には、ミニ図書館を設置したり、廊下に俳句を掲示したりするなど、子どもたちが俳句を身近に感じることでできる場を整えることで俳句に対する関心を高めていきたい。その際、「ひみつの俳句ノート」を活用し、書き溜まっていく喜びを感じさせたり、進んで取り組んでいる様子を賞賛したりし、たくさんの俳句を読もうとする姿を増やしていきたい。

〔自分で取り組む〕

□児童が自分の考えを形成したり、思いや考えを基にオリジナル俳句集を創造したりする時間を確保する。

### ③テーマを決め、アンソロジーを編み、オリジナル俳句集を作成する。

俳句が書き溜まってきたら、様々なジャンルの中から、自分のテーマを決めることで学習の個性化をはかり、オリジナル俳句集を作成する。テーマを自分で設定し、それを基に俳句を集めることができる子どももいるが、一方で、決めることが難しい子どももいるだろう。そこで、書き溜めた俳句を読み返し、自分がより気に入ったものを絞っていくことで、テーマを見出していくことや子どもの興味・関心のあることを聞くなど教師との対話を通して個々のテーマ決めの手助けをしていく。また、オリジナル俳句集では、お気に入りの俳句、その俳句の解説文、絵を載せる。解説文では、自分なりに選んだ俳句の解説を書く。うまく思い浮かばない児童については、教師モデルや「めくってびっくり俳句絵本」を参考にし、考えさせていく。

〔広げ深める〕

□児童が自分の考えを伝える場面を設定する。

### ④オリジナル俳句集を互いに読み合い、思いや感想を交流することで考えを広める。

オリジナル俳句集が完成したら、ライティング・カンファレンスの手法を用い、意見や感想を交流する。ライティング・カンファレンスでは、質問を通して自分の俳句集に対する思いを語り、作品の良さを改めて実感させたい。また、友達の作品に対する思いを聞くことで、新たな俳句に出合ったり、同じ俳句を選んでも違う考え方をしたりする場合があり、考えを広めるきっかけになる。このような活動を通して改めて俳句の魅力を実感できるようにしたい。

〔まとめあげる〕

□児童が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定する。

### ⑤国語日記を書き、学習について振り返る。

国語日記（学習してわかったことやオリジナル俳句集を作ってみてどうだったか）などを単元中に随時書かせるようにする。この日記に、単元を通して、自分がどんなことがわかったかや言語活動を通して思ったことを書くことで自分の活動を客観的に振り返り、自己肯定感を高めるとともにメタ認知能力を育成していきたい。

4. 全体指導計画（9時間扱い）

次	時	主な学習活動	○教師の留意点 ☆評価（方法）
第一 次	1	単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ・オリジナル俳句集や『めくってびっくり俳句絵本』を見て、単元のゴールを知り、学習の見通しをもち、学習計画をつくる。 俳句の五・七・五音の構成や季語について理解する。	○モデルを提示し、本単元のゴールを伝える。 ○俳句集に必要な構成要素を伝え、学習計画を立てる。 ☆単元のゴールと見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。（㊦発言・日記）
第二 次	2	俳句を読む。 ・俳句を多読し、自分の好きな俳句を見つける。	○様々な俳句集を用意し、多様な俳句に触れることができるようにする。 ○たくさんの俳句の中から情景の浮かんだ俳句について「ひみつの俳句ノート」に書き溜めていく。 ○視写用紙を多数用意し、子どもたちが主体的に取り組めるようにする。 ☆俳句を読みお気に入りの俳句を見つけようとしている。 （㊧発言・ひみつの俳句ノート・日記）
	3	・俳句を視写し、自分の思った情景や考えたことを書き溜める。	
	4		
第二 次	5	オリジナル俳句集を完成させる。 ・書き溜めた俳句からテーマを決め、オリジナル俳句集をつくる。	○書き溜めた俳句集を見返しながらテーマを決めるように声をかける。 ○テーマの決まらない子どもについては個別に支援していきながら決定していく。 ☆テーマが伝わるような俳句を選ぼうとしている。（㊧発言・オリジナル俳句集）
	6	・自分の思いや考えを整理する。	
	7		
第三 次	8 本 時	友達と作品を読み合い考えを交流する。 ・オリジナル俳句集を読み合い、自分の思いを伝える。	○カンファレンスの質問事項に沿って、自分の思いを伝えさせる。 ☆オリジナル俳句集づくりを通して、できた作品に対する思いや考え伝え、友達や自分の作品の良さに気がついている。 （㊧発言・日記）
	9	学習のまとめ ・以下の学習の振り返りを行う。 ①オリジナル俳句集を作って、どんなことを思いましたか。 ②この学習でできるようになったことはなんですか。	○2観点で振り返らせることで、達成感や成就感を味わせるとともに、自己の成長に気付かせる。 ☆単元全体の学習について振り返ろうとしている。（㊦ノート・発言）

本時の指導（8／9）

（1）目標 オリジナル俳句集づくりを通して、できた作品に対する思いや考えを伝えることで友達や自分の作品の良さに気付くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 B（1）オ

（2）展開

時配	学習活動と内容 ◎教師の発問・子どもの反応	○教師の留意点 ☆評価（方法）
3	1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 友達と作品を読み合い、自分の作品をふりかえろう。	○迅速に学習問題について確認できるように学習計画を基に学習問題に導く。 ○解説文の着目点を掲示しておく。
5	2. カンファレンスの流れを確認する。 ・お互いの作品を読む。 ・質問し終えたら褒め褒めタイム行う。褒め褒めタイム終了後に質問者を交代する。 ・お互いの質問が終わったらフリートークを行う。	カンファレンスの質問事項 ① どうして、このテーマにしたの？ ② あなたのオリジナル俳句集のおすすめポイントは？ ③ 一番お気に入りの俳句は何？ ④ どうしてその俳句が一番なの？ ⑤ 作っていて何かなやんだことはある？ ～褒め褒めタイム～ ～フリートーク～
3 2	3. カンファレンスを行う。	○事前に褒め褒めタイムでは、解説文の着目点到注目するように伝える。 ○片方の質問が終わったら質問者を交代することを伝える。 ○自分の作品の色々なよさに気付かせるために3人以上と話をさせる。 ○1組目のカンファレンス終了後フリートークで出た話題について共有しそれ以降の話題の手助けとする。
5	4. 国語日記を書く。 ◎友達と交流してどうでしたか。 ・友達がなんでそのテーマにしたのかがわかりました。 ・自分の気付かないところを褒めてもらって、新しく作品のよさに気付きました。 ・友達の絵の描き方がとても上手で、その俳句の様子がよくわかりました。	○国語日記では、本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ○机間指導をし、子どもたちが書いた内容を把握する。 ○机間指導しながら、自分の考えを書いている児童を賞賛する。 ☆友達と作品を読み合い、友達や自分の作品のよさに気がついている。 (㊟ノート・発言)